

第 48 回技術士全国大会(奈良)第 4 分科会 「未来社会への技術監理」

下記の内容にて、「第 48 回技術士全国大会(奈良)」第 4 分科会「未来社会への技術監理」に北海道本部青年技術士交流委員会から 6 名で参加してきました。

- ◆開催日時：令和 4 年 10 月 29 日(土)
9：30～12：15
- ◆開催形式：ワークショップ
- ◆開催場所：ホテル日航奈良
- ◆開催方法：オンラインと対面のハイブリッド形式
以下にその内容をご報告します。

1. 開催概要

第 4 分科会のワークショップでは、技術士の総合技術監理部門に着目し、近年注目度の高い管理技術手法を参加者で議論の上、未来の技術士に向けた資料を作りあげました。本ワークショップを通じて、10 年後の技術士像をイメージして理想を実現するために必要なスキル、学習課題について意見交換し、「総合技術監理 キーワード集」に載せたいキーワードを参加者で考えました。

キャリアコンサルタントであり、ファシリテーション技法の専門家である関戸紹恭氏にファシリテーションをして頂き、参加者は複数のグループに分かれて議論し、全体共有をしながら意見交換を進めていきました。ワークショップは、自己紹介から始まるセッション 1～4 に分かれており、参加者と議論しながら徐々に「総合技術監理 キーワード集」に載せたいキーワードを考えていきました。具体的な内容を以下に記述します。



写真-1 ファシリテーターの関戸紹恭氏

2. ワークショップ(セッション 1、2)

セッション 1 ではアイスブレイクとして、グループのメンバーに向けた自己紹介を行いました。自己紹介は氏名だけを伝えるのではなく、「今日呼ばれたい名前、自分を道具・工具に例えると何かとその理由」を説明するものでした。各参加者の自己紹介を聞くととても面白く、自然と他地域の技術士と打ち解けることができました。

セッション 2 では、「今から 10 年後の私達技術士が、市民やほかの技術者から目標とされる理想の存在でいるとしたらどんな活動、活躍をしていますか」というテーマで議論しました。

意見交換後、グループ内でどのような議論を行ったのかを全体で共有しました。

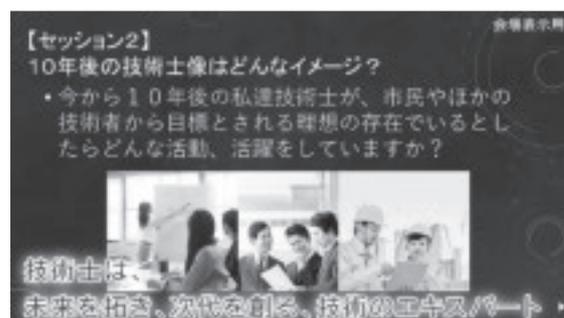


図-1 セッション 2 の議論テーマ



写真-2 ワークショップ時の会場の様子

3. ワークショップ(セッション3、4)

セッション3では、「技術士の理想像を叶えるには、これから、どんな分野・専門性のスキルが必要か」というテーマで議論しました。理想の技術士像はぼんやりと参加者の頭の中にあっただものの、その理想を実現するために必要な具体的な分野まで落とし込んでいる参加者は少なく、苦労しながら意見を出し合いました。

セッション4では、これまでのセッションで議論したような、技術士が具備すべきスキルは、具体的にはどんなスキルか。どんなキーワードが『総合技術監理 キーワード集 2032』に載っているか」というテーマで意見交換しました。

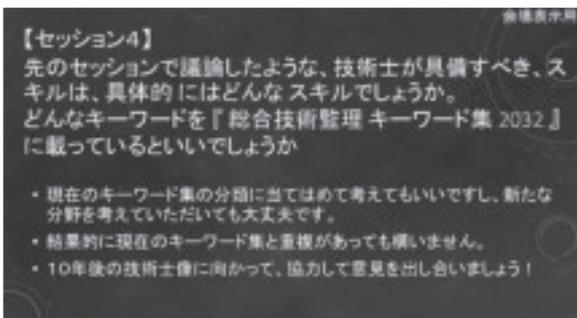


図-2 セッション4の議論テーマ

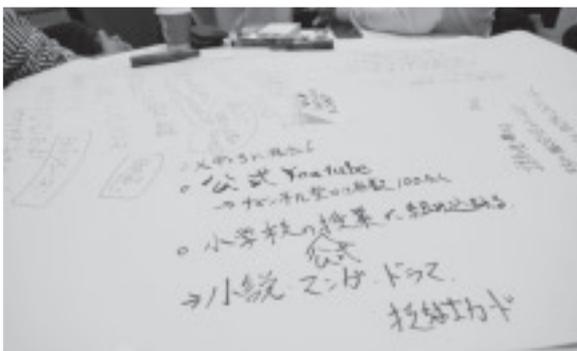


写真-3 ワークショップ時に出た様々な意見

4. 全体共有

全てのセッションの終了後も、グループ内で考えたキーワードについて全体で共有しました。同じテーマで議論していたものの、各々の視点からキーワードが考えられており、普段は業務に追われ、なかなか10年後の理想像をイメージすることができない自分にとってとても良い気づきとなりました。



写真-4 全体共有時の様子

5. おわりに

コロナ禍のため、他地域の技術士と対面での交流がなかなかできず、今回は久しぶりの交流となりました。「なぜ全国大会にまで行って技術士と交流する必要があるのか?」と疑問に思われる方々もおられると思います。北海道内でも様々な部門の技術士と交流することができますが、他地域の技術士はさらに地域による違いがプラスされ、普段とは違う刺激をもらうことができます。地域が違えば考え方も違いますし、活動している内容も異なります。私はその違いを吸収できること、自分の視野が広がるのが全国大会に参加する意義であると思います。全国大会に参加されたことがない方はこれを機にぜひ、全国大会に参加して他地域の技術士と交流頂けたらと思います。



写真-5 ワークショップ終了時の集合写真